

# 第1学年 学級活動（進路）指導案

日時 平成16年11月5日（金）

学級 1年A組 男12名 女6名 計18名

授業者 教諭 佐々木 優香

1. 単元名（題材名） 働く人々に学ぶ 「働く人々の仕事と考える」

2. 単元設定の理由

（1）単元について

1年生の進路学習では、「自己をよく理解し、将来の進路についての関心を高め、進んで自己の進路を計画しようとする生徒を育てる」を目標としている。今年度は特に「私達の将来の希望」「働く人々のすがた」「働く人々の仕事と考える」の学習において、身近な地域の人々からたくさんの生き方、考え方を学ぶ。その上で「自分の特色、人と個性」について理解し「自分の進路と将来設計」の学習で自分を生かすための将来の希望をより具体的にしていけることが大切である。

1学期には、「私達の将来の希望」で、自分のクラスの仲間の夢や希望、身近な大人の生き方考え方を知り、進路に対する考え方の視野を少し広げることができた。同時に進路学習の重要性と自分の将来への興味・関心が持てるようになってきている。

2学期の学習では、地域に働く人々の姿や考え方に触れることにより、職業の種類や働くことへも興味・関心を高め、働くことに対する理解を深めさせることが大切である。また、働く人々は何を大切にしているかを理解させ、職業選択能力の育成や職業観・勤労観、人生観の形成のための基礎を身に付けさせたいと考え、この単元を設定した。

（2）生徒の実態について

男子12名、女子6名の学級集団である。全体的に明るく素直であり、係の仕事や掃除などもまじめに行っている。1学期の体育祭や2学期の球技大会、文化祭においても、一人一人が一生懸命練習に参加し、達成感を得ている。しかし、何事においても指示されたことには忠実であるが、自分から新しい方法を生み出したり工夫・創造することが苦手である。

進路については、1学期に学級の仲間の将来の希望の発表会や身近な親への職業インタビューを通じ、視野を広げると同時に働くことを少しずつ身近なものにとらえ始めてきている。5月始めに「将来の夢が未定だ」と答えた生徒も漠然とではあるが1学期の終わりにはなりたい職業名をいくつかあげることができるようになってきた。また、5・6月に行われた龍甲学習での地域の達人たちとの出会いにより、一つのことを追求し続ける姿を学び、理想の生き方像を自分なりに描くことまで近づいてきた。また、生き方の勉強は、教科書や本だけでなく、日常や身近な所からもたくさん得るものがあり、実際に自分自身の体を使ってこれから3年間かけて体験学習を進めていき、自分の生き方を見つけていくということも確認した。

2学期の職場訪問では、地域の職業の特色を調べたことでその職業にも苦勞や喜びがあるということを知り、より現実のものとして受け止め始めている。その中で苦勞はしながらもやはり喜びややりがいを感じたい、と感想を述べる生徒がほとんどであった。しかし、どんな場面で喜びややりがいを感じたいのかを十分考えるには至っていない。

（3）単元の指導構想

本単元は「働く人々のすがた」「働く人々の仕事と考える」で構成されている。では、地域のいくつかの職場に小グループに分かれて訪問、発表し、職業の特色についてより具体的なイメージを持たせた。職業の特色として、働く場所・働く時間・服装・相手・働く年齢・資格・免許・専門性・仕事の変化・苦勞・喜び等について取材内容からまとめさせる。職業の特色をつかむ条件を学習することは、今後の進路学習を進める上で考えを整理しやすくするのに重要である。では、「将来職業を選択する上で大切にしたいものを考えよう」という学習課題で互いの考えを発表させる。一学期から今までの取材・学習した人を思い起こし、一人ひとりが考えを出し合いながら、8つの価値観について理解していく。取り組みの中で、自分は何を大切にしたいのかを少しずつはっきりさせ、次への学習へとつなげていきたい。

### 3. 研究主題との関連

1年生は、1学期に「私たちの将来の夢」として学級の仲間の夢や希望・身近な親の職業インタビューを通して、夢や希望をもつ事の必要性を知り、5月6月の「総合的な学習の時間（龍甲学習）」でお世話になった、櫃取湿原を守る西間さん、龍泉洞の水を開発し続ける下道さん、野鳥の会を趣味として続ける佐々木さん等何人かの地域の方から夢や生きがい、一つのことを追求し、やり遂げようとする姿勢を学んできた。また、龍甲学習の1年生のテーマは「地域に学ぶ」であり、岩泉町の自然や人々とのふれあいによって自分の生き方を振り返り、進路学習や日常生活にも役立てようとして取り組んできた。特に、龍甲学習で出会った達人たちの「ものごとをあきらめずやりぬく姿勢」は、生徒たちにとって理想の生き方につながった。

また、これらの学習は教科書等の机上で得たものでなく、身近な自分たちの地域から自分の足や目・耳・口など体をしっかり使った体験学習であり龍甲学習における啓発的経験である。

2学期はそのことをうけて実際に自分たちの足で、岩泉町内の会社、食品店、学校、保育所、民宿、保健センター等自分が希望する職業に自分で取材をし、職業の特色について学級で発表会を行い、啓発的経験の共有を図った。これらの啓発的経験を一度で終わるのではなく、進路学習の目的に応じて、生徒たちに振り返らせている。生徒たちはその度に当時の学習場面に戻ることができ、そこから自分の目指す生き方像を増やしたり、具体的にしている。また、一度お世話になった地域の方々とも継続してアンケートに協力をしていただいたり、手紙やお話で人生観・職業観をを聞かせていただいている。

こうした取り組みを継続することで、地域と寄り添い、より身近な立場で物事を考えるようになり自分の生き方を考える上で主体的に考える動機づけとしたい。

### 4. 学習計画

#### 本単元の学習計画

	学 活	龍 甲 学 習	学校行事
事前	・事前アンケートの記入（SHR時） ・働く人々のすがた（1H） ・職業の特色を調べてみよう（2H） ・職場体験発表会（1H）	職場訪問インタビュー（4H） 小本漁港、小本温泉、山口屋、三浦民宿、 和山コンクリート、小本運送、小本保育園、 小本小学校、小本中学校、かもしか食堂、 ラーメンショップとよし、ヘアサロンジュン、 ほていや、保健センター	球技大会  文化祭
本時	・働く人びとの仕事と考え（2H）		
事後	・個人新聞をまとめる（1H、宿題） ・お礼状を書く（1H）	職場訪問先	2学期末集会

### 5. 本時の学習

#### (1) 本時の指導構想

「あなたならどうする？」として問いに答え、自分が大人になった時、人生の岐路に立ち選択する場面をシミュレーションさせてみる。生きていく上で、自分自身が今持っている価値観を考えるとということである。

何人かの生徒に発表させ、価値観の違いによって人生が変わることを話し、「将来職業を選択する上で大切にしたいものを考えよう」と本時の課題を提示する。

そこで、8つの価値観（経済、個性、社会、家庭、信念、創造、協働、影響）について確認させ、自分が大切にしたいものを順に並べ替えさせる。その上で学習シートに上位3つの価値観とその理由をあげさせる。

そこで何人かの生徒を指名し、黒板の「価値観カード」を並べ替えながら自分の考えを発表させる。時間に余裕があれば一人でも多く考えを述べてもらう。

次に「龍甲学習」で出会った方々にも生徒たちと同じように、「あなたならどうする？」や「価値観カード」に取り組んでいただいた資料を見せ、どのような価値観をもって働いているのかを知る。終末は、自分が大切にしたい最終的な価値観をまとめ、自分の目指す生き方をより具体的に表わす。

(2) 本時の目標

価値観は人によって異なり、なぜその価値を大切にするかさまざまな考えがあることを知る。  
学級の仲間の考えや働く人たちの考えを参考にし、自分が大切にしたい今現在の価値観を具体的に持たせる。

(3) 本時の展開

展開	学 習 活 動		指導上の留意点・資料	時間
	生徒の活動	教師の活動		
導入	1、あいさつをする。 2、「あなたならどうする？」の質問に答える。 3、本時の学習課題を確認する。	1、あいさつをする。 2、「あなたならどうする？」の質問をする。 3、価値観によって人生が変わることを話し本時の学習課題を確認する。	・紙板書	5分
<b>将来、職業を選択する上で大切にしたいものを考えよう</b>				
展開	4、価値観カードを、自分が大切にしたい順に並べてみる。 5、上位3つの理由をワークシートに記入する。 6、自分の価値観を発表する。 7、龍甲学習で出会った方々の価値観を知る。	4、価値観カードの意味を理解させ大切にしたい順に並べさせる。机間巡視 5、自分が大切にしたい上位3つの理由を学習シートに記入させる。 6、黒板の前に出させ「価値観カード」を並べ替えながら上位3つの理由を発表させる。考えの違う3人位に発表させる。 7、龍甲学習でお世話になった方々の価値観を紹介する。	・価値観カード ・ワークシート ・価値観カード ・「龍甲学習で出会った方々の価値観」	35分
終末	8、ワークシートに自分の最終的な考えをまとめる。 9、次時の授業の内容を知る。 10、あいさつをする。	8、何人が指名する生徒の発表を繰り返しながらまとめる。 9、次時の授業は、適性について学習することを伝える。 10、あいさつをする。	・生徒個々の変化の様子を教師が評価する。(情意面)	

(4) 本時の評価

価値観は人によって異なりなぜその価値を大切にするかさまざまな考えがあることを知る。  
(ワークシート)  
学級の仲間の考えや働く人たちの考えを参考にし、自分が大切にしたい今現在の価値観を具体的に持たせる。  
(ワークシート)

# 将来、職業を選ぶ上で大切にしたいものを考えよう

1年 氏名

1

8つの価値観(経済、個性、社会、家庭、信念、創造、協働、影響)を。  
自分が職業を選ぶ上で、「大切にしたい」と思う順に並べ替えてみましょう。

1 位		< 経済 > 給料がよいこと
2 位		< 個性 > 自分を生かすこと
3 位		< 社会 > 人(自然)に役立つこと
4 位		< 家庭 > 家族の幸せを実現すること
5 位		< 信念 > 自分の信じることをやりぬくこと
6 位		< 創造 > 新しい考えを生み出すこと
7 位		< 協働 > 集団や仲間を大切にすること
8 位		< 影響 > 人々の考えを変えたり、人の上に立つこと

8つの価値観カードをはり終えたら、大切にしたい順に3つの価値観を下に書きましょう。  
そして、その価値観を大切にしようと思う理由や具体的な内容を書いてみましょう。

1位 ( ..... ) 理由

2位 ( ..... ) 理由

3位 ( ..... ) 理由

2

今日の学習のまとめをしましょう。

地域の人たちの価値観を知って、  
私(僕)は

ということが印象に残りました。  
というちがいを感しました。  
という共通点を見つけました。  
ということ学びました。

将来、私(僕)は、

---

(自分が大切と思う価値観)

を大切にして、職業を選びたいと思います。

理由は、

だからです。

私の将来の夢は、

です！！

自己評価

価値観は人によって違い、さまざまな考えがあることを知った。 4 - 3 - 2 - 1

学級の仲間や地域の人々の考えが参考になった。 4 - 3 - 2 - 1

自分が大切にしたい価値観を具体的に持つことができた。 4 - 3 - 2 - 1

## ふだんは意識することのない、自分が大切にしたいもの「価値観」

小本中図書館『「働く」を考える』より

なんとなく「自分の生き方はこうだ」と思っているとしても、それを言葉にしようとする、なかなか難しいものです。ですからこれらの言葉のなかにぴったりくるものがなくても決してふしぎではありません。が、自分の生き方や過ごし方と違うのはどれか、似ているのはどれか、など、考えながら、近いものを選んでみるのが大切です。

自分はどんなことに喜びを感じ、何を大切だと考え、何が重要ではないと考えているのか？  
そうした「価値観」はふだんあまり意識することがありませんが、あるとき、価値観にあった生活ができなくなったときにそれを痛感することがあります。

例えば、小学校のころからずっとリーダーとして人の上に立ち、自分の考えを人に影響させてき続けてきた人にとっては、それが当たり前であったり、あるいは苦痛になったりすることもあるとします。でも、何かの原因で、自分の立場がどう考えてもリーダーにほど遠く、意見を言いたくても言えない、言ってもみんなが従ってくれない、という立場になったとします。そこで、自分のストレスがたまり生活がつまらなくなる、という話です。

また、毎日決まった時間に起き、規則正しい生活をしていることが、当たり前と感じていた人が、何かの原因で生活リズムを乱し、体をこわしてしまった。その時、いかに規則正しい生活が大切だったか、気付くのです。

ただ、自分の生き方はわかっているつもりでも、なかなかわかっていないものです。ある職業について後で、自分の生き方に合わないことに気付いて転職をしていく人は、現実にたくさんいます。

また、「生き方」は職業の選び方に反映されるわけではありません。それは、働き方、仕事ぶりのなかにもはっきりと見えてくるのです。

たとえば、あなたが「医者」という職業を選んだとしましょう。きっとまわりの人は、あなたのことを「医者になりたいと思うような人なんだな」と思うでしょう。でも実は、それよりもっと大切なのは、数多くいる医者の中で、あなたはどんな医者になりたいのか、ということです。その中に、よりはっきりとしたあなたの価値観が見えてくるのです。

「わたしは になってこんな生き方をしたい」こんなふうに自分の価値観と就きたい職業をセットにして考えられるのが理想です。